



月根尾

12月

217号

～「月根尾」とは、学校のある地域の古名「突根尾原」に由来する地名です～

今年度初の試み

＼飯南町から学ぼう／

1年生

2年生

中高一貫教育

第5回飯南ジョブフェア

11/14

今年は飯南町の15の企業に加え、U・Iターナー者などの個人の方4名にご協力いただき、19のブースを設けました。生徒は25分ずつ4つのブースを回りました。今年度初の試みとして、連携中学校の頓原中学校・赤来中学校の1・2年生の皆さんの参加もあり、更に活気のあるジョブフェアになりました。

生徒は会社や仕事の概要だけでなく、その職業に就いたきっかけややりがいを知り、働く意義について考えるとともに、地域で働く魅力を感じることができました。生徒からの質問にも熱心に答えていただき、見えている業務やイメージだけで認識していた職業を、内面から知ることができました。

また、様々なブースで本校卒業生から「高校生の時やっていて良かったこと、やっておけば良かったこと」などを聞き、自身に置き換えて考え、これから役立てていこうと思った生徒が多かったようです。

その他に、「自分と年齢の近い方から話をお聞きし、福祉の仕事を手近に感じる事ができた。他の人の人生の一部を支えていけることはとても魅力的ですばらしいと思った。」「仕事に対してすごく熱意が感じられた。仕事には自分らしさが必要だと聞いて、今までの仕事に対する考え方が変わった。」「すべての仕事に楽しさとチャレンジ精神を持ってやってもらえるのだと感じた。こういう生き方もあるんだと学んだ。」「都会にずっと憧れていたが、Iターンの方の話を聞いて、田舎の良いところに改めて気づく事ができた。将来は地元に戻り、飯南町のためにできることを見つけたいと思った。」などの感想がありました。

様々な角度から職業を見つめ、「なぜその職業を目指すのか」「何を大切に仕事をするのか」などの“内的キャリア”をしっかりと固めてほしいと思います。



ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

雲南保健所 保健師 青木悦子さん
がん啓発サポーター 小林貴美子さん

はじめに保健師の青木さんから、がんについての様々な知識を教えてくださいました。「日本人の2人に1人ががんにかかる」と聞き、生徒はとても身近な病気だと認識したと思います。生活習慣と関わりが深い病気で、意識してがんにかかりにくい生活を送ることができると思いました。

その後は、自らががんを経験し啓発サポーターを務めておられる小林さんから、がんの症状や治療方法、検診の必要性について詳しく教えてくださいました。そして、それを通して感じられたことなどもお聞きすることができました。小林さんは、命の教育としてがんを語っておられるそうです。「命は一つしかない！」ということと「決して自分で命を絶たないでほしい」ということを強く伝えてくださいました。



生徒の感想では、「命の大切さや健康でいることは当たり前ではなく努力が必要だということに改めて感じた。今できることをしっかりして、精一杯生きたい。そして、心の面でも強くなれるようにしたい。」
「がんについての見方が変わった。苦しくて辛いこともあるけれど、小林さんのように元気に明るく生きていきたいと思った。」
「実際に経験した方の話を聞いて、テレビで見たり聞いたりしたことよりもよりリアルに感じた。がんへの恐怖を感じたが、それ以上にがんにも3回なっても私たちの前で明るく前向きに話して下さる姿にとっても感動した。」
などがあり、実際にがんを体験された小林さんの話は生徒に強いメッセージとして伝わり、感じることも多かったようです。

生徒自身ができることとして、自己検診以外にも、身近な人と生活習慣について話したり、がんについての知識を周りの人に伝えたりすることもとても大切な役割だと学びました。

貴重な話を聞かせていただき、ありがとうございました。

東海大学文化社会学部広報メディア学科
河井 孝仁 教授

最初に河井先生から、情報発信する際の対象者の行動分析や行動を促すための戦略をお聞きしました。

その後は、8班に分かれて飯南町の「魅力創造ワーク」を作成しました。班ごとに飯南町内、町外に住む架空の人物を3人考え、年齢や仕事以外にも希望や悩みなどを明確に設定しました。そして、生徒が事前学習で考えた飯南町の「ヒト・モノ・コト…」など様々な種類の魅力を活用し、その人物が飯南町と関わりを持ちながら悩みを解決し、希望を実現するためのストーリーを考えました。



それを模造紙にまとめ、8班同時にポスターセッションを行いました。これを4回行い、全員が自班の発表を自分の言葉で伝えました。他のグループの考えを聞き、町の魅力や課題を再確認・再発見し、町の新たな見方にも繋がったのではないのでしょうか。

これらの活動を通して、「町を語る力をつける」ことができたと思います。そして、「対象者に合わせてどのような町の情報が提供できるか」、「希望を叶えるためにどのような人と連携してこの町を良くしていけるか」、「課題を解決するためにどのような町の魅力を高めるといいか」を考えるきっかけとなりました。

12月20日に行う課題研究 最終発表会では、各班がそれぞれのテーマで研究成果を披露します。ポスターセッションで見られたように、自分たちの考えを自分たちの言葉で、聞き手を見ながら伝えようとする姿勢も発信力の向上に繋がると思います。町の魅力アップの一助となる発表に期待しています。

最終発表会の様子は来月号でお伝えします!

はやしこ ~伝統を継承する飯南高校生~

10月、11月に飯南町や美郷町では、各地区の宮に囃子奉納が行われます。本校では『はやしこ』を地域学習の一環として捉えており、【地域在住の生徒が郷土の文化の担い手として活動することを奨励するとともに、県外出身の生徒が飯南地域の文化にふれる契機とする】ことを目的に、生徒は祭りに参加しています。3年前から県外の寮生もホストファミリーの皆さんにお誘いいただき、地域の伝統行事を体験しています。

生徒からは、「はやしこは地域の方々とコミュニケーションがとれる良い機会。周りを見てみると、たくさんの場所で様々な人の支えがあり、大人の方々は改めてすごいと感じた。来年からは社会人になるので、しっかりと視野を広げて積極的に行動することを意識してやっていきたい。」「2回目ははやしこで、去年とは違い太鼓のリズムやパチの回し方も上手にできるようになった。休憩時間は地域のたくさんの方と話し、元気をもらうことができた。地区全体で行うはやしこはとても達成感があった。地域の大切な行事を体験させてもらったと思う。」(寮生)



「自分の地元では味わえないこと。地域の人とも交流ができて、非常にいい経験になった。はやしこを通して飯南町のことを教えてもらい、自分のためになった。今後もたくさんの地域行事に参加し、地域の方々と交流し、飯南町についてもっと知りたいと思った。」(寮生) などの感想が聞かれました。

地域の方からは、「はやしこの参加は郷土愛を育み、地域の状態を肌で感じ取れるいい機会。地域に貢献しようとする気持ちは素晴らしい。」と仰ってくださいました。地域の方々の思いに触れるとても貴重な機会となりました。ありがとうございました。

新! 生徒会執行部発足!

【会長】岡 夢乃	【書記】佐藤 華子
【副会長】花田 圭佑	藤原 寿人
藤原 日向	【会計】堀越 実里
【議長】那須 泉希	安井 雄太
松田 華美	



新生徒会長挨拶



こんにちは。生徒会長になりました岡夢乃です。新生徒会執行部では「自立できる学校」「一人一人の意見を反映し少しでも過ごしやすい学校」「いろいろな場所で活躍し笑顔あふれる学校」を目標に多くの企画を考えています。今までの伝統を引き継ぎつつ、新たなことに挑戦していきたいと思っています。大変なこともあると思いますが、みんなで協力して頑張っていきたいと思っています。一緒に飯南高校を盛り上げていきましょう。1年間よろしくお願いします。

全日本芸術振興学会賞を受賞!

芸術授業で書道を選択している1年生が日本書写教育研究会主催の「第62回全国硬筆作品展覧会」に出品したところ、安井花音さんの作品が上記の賞を受賞しました!



入賞おめでとうございます!

秋季協議会 研究発表

JRC部6名がバルメイト出雲で行われた秋季協議会に参加し、「ボランティア宅本便活動を通して地域とつながろう」というテーマで研究発表を行いました。

7月から始めたこの活動は、地域の皆様の協力もあり、本とCD合わせて1424点集まりました。これらはすべて日本赤十字社を通して発展途上国や被災地の支援に使われます。快く協力していただきました皆様、本当にありがとうございました。

『発展途上国まで視野に入れた支援であること』、『地域と密着した活動であること』を評価していただき、これからも是非続けて欲しいと講評がありました。地域の皆様から、「またやって欲しい」「JRC部の活動を応援したい」などの声をいただきました。これからも地域のニーズに応えられるように、「気づき、考え、行動する」をモットーに活動していきたいと思えます。



ハンドボール部

11/9-10

令和元年度島根県高等学校新人ハンドボール大会

- 【1回戦】飯南 29 - 5 浜田水産
- 【準決勝】飯南 19 - 20 松江南
- 【3位決定戦】飯南 27 - 17 松江工業

第3位!



テニス部

11/16-17

第13回中国高等学校新人テニス大会

- 【シングルス】山戸 果音 出場
- 【ダブルス】山戸 果音・藤原 日向
ペア 出場



11/7-8

第23回島根県高等学校総合文化祭放送部門
島根県大会

【アナウンス部門】2名出場

【朗読部門】西田 成

平野 翔穂

【オーディオピクチャー部門】出品



この結果、西田さん、
平野さんが2月に行われる
中国大会出場権を獲得!

バレーボール部

11/8-10

令和元年度島根県高等学校バレーボール選手権大会

【1回戦】飯南 2 - 1 出雲商業

【2回戦】飯南 0 - 2 松江北



1月の主な行事予定

- 5日(日) 夕方開寮
- 8日(水) 始業式
- 9日(木) 3年生試験発表
- 16日(木) 3年生学年末試験(～20日)
- 18日(土) 大学入試センター試験(～19日)
- 21日(火) 3年生家庭学習期間(～3月1日)
- 22日(水) 中高一貫特別選抜及び推薦選抜
生徒は特別休業日
- 27日(月) 2年生スキー研修
- 29日(水) 3年生出校日
- 31日(金) 1年生地域医療学習

